

劇団 花道

劇団花道 プロフィール

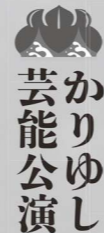
平成18年10月29日那覇市民会館大ホールで旗揚げ。
これを期に離島を含め公演活動を開始する。
劇団結成の主目的は「若手の後継者育成、地方への出前公演」。
その成果も実を結びつつある中、さらなる努力を惜しまず活動中。
自作
姉妹旅情・辻情話・あむとうぬしちゃ・花街時雨・仲島の恋

略歴

平成18年(2006年)10月 劇団花道旗揚げ、及び記念公演
「自作・天使の舞・姉妹旅情」(那覇市民会館大ホール)
平成19年(2007年)3月 かりゆし芸能公演初の演劇に採択、「自作・辻情話」(県立郷土劇場)
平成19年(2007年)5月 母の日公演「自作・辻情話」(那覇市民会館)
平成19年(2007年)6月 伊是名公演「首里上り・今帰仁祝女殿内」(伊是名)

以後、劇団花道として毎年自作を上演。
伊平屋島・渡嘉敷島・津堅島・粟国島等へ慰問公演
「天使の舞」「姉妹旅情」「辻情話」「仲島の恋」「花街時雨」
「あむとうぬしちゃ」「恋時雨他」

平成28年(2016年)3月 かりゆし芸能公演 「花街時雨」(国立劇場)
令和元年(2019年)9月 かりゆし芸能公演 「あむとうぬしちゃ」(国立劇場)



令和5年度沖縄県伝統芸能公演 国立劇場おきなわ公演

公演
「肝心」
劇団花道
「うちなゝ芝居」

第一部 幕開け舞踊

「遊びシヨンカネー」「桑ムイ節」

第二部 芝居

「浜育ち」(作・渡嘉敷守良)

令和5年

7月7日

金

18:30 開場 19:00 開演
国立劇場おきなわ・小劇場
(沖縄県浦添市勢理客4-14-1)

【主催】劇団花道・(公財)沖縄県文化振興会
【共催】(公財)国立劇場おきなわ運営財団 【後援】沖縄県
【問い合わせ先】 劇団花道 090-9782-8568(津波)

あらすじ

作・渡嘉敷守良

「浜育ち」

第一景・浜辺

漁に出る若者たちに、ハールー小の行方を尋ねる村長の息子。
息子のことを良く思っていない若者たちは右左と翻弄する…

第二景・海辺

ハールー小親子は釣りをしている。
ボートを転覆させて溺れかけている那覇の学生を助ける。

第三景・村内

ハールーとろうあ者の次良が学生の着物を洗濯している。
ハールーの父は豆腐買ってきて学生さんに上げるように伝える。
そして次良の父も国頭から帰って来て見慣れない着物のことを聞く。
次良が身振り手振りで説明する。
世話になった学生は那覇に帰るとハールー小に告げる。

第四景・浜辺

学生とハールー小は灯台を見ながら語り合う。
そこへ次良が来て仲良く語り合う二人に嫉妬して嘆き悲しむ。

第五景・浜辺

次良の目から逃れたハールー小は帰る途中に、村長の息子と出会う。
結婚を申し込むが断られ無理に連れて行こうとするところを次良が助ける。

第六景・村内

ハールー小を助けたことを父に身振り手振りで話す…
主は盲目で意味が伝わらずに次良の父を呼ぶ。次良がハールー小を助けたことを話す。
ハールー小も帰って来て委細を話す、感謝の気持ちを伝える。

第七景・村内

村長の妻は、息子がハールー小に求婚したが断られたことに腹を立て、村にはおけないと生活道具を外に出す。次良親子も出て行くように告げる。
ハールー小親子が帰って来て、事の成り行きを伝えられて村から出て行く。
学生親子がハールー小を貰いに来る、村長が詫びに来るが次良の父が出て行ったことを話す。

第八景・浜辺

学生親子、村長親子、次良親子ともにハールー小親子を探す…
遠くハールー小の歌が聞え、そこへ向かう。

第九景・海辺

それぞれの親子はハールー小親子を見つけ、ハールー小を嫁にとお願いするが…
ハールー小は親に任せ従うと、父は私が決めるからと言って海に身を投げる…

第十景・海辺

父の亡き後、ハールー小は三人三様に思いを伝えるが…

出演者



ハールー小
福島 千枝



ハールー小の父
具志 清健



次 良
与座 幸賢



次良の父
高宮城実人



村 長
新垣 勝夫



村長の妻
宮城 能香



息 子
山内 昌太



女 中
平田 晴香



学 生
比嘉 克之



学生の母
与座 正恵



村 人
伊集 春華



村 人
時田 美夢



村 人
宮里 理沙



村 人
石垣 菜柚

地 謡



唄 三 線
仲宗根盛次



唄 三 線
仲本亜寿香



箏
米須 弥生



笛
中野 夢

演技指導 津波 盛廣
アナウンス 棚原 洋子
舞台美術 新城 栄徳

音響照明 国立劇場おきなわ
動画撮影 サウンドビデオ
字 幕 末吉 りえ